

平成 28(2016)年度

# 事業計画書

平成 28(2016)年 4 月 1 日から  
平成 29(2017)年 3 月 31 日まで

一般財団法人大阪府青少年活動財団

大阪市浪速区幸町2丁目7番3号  
りそな・アルテ桜川ビル4F

# 平成 28(2016)年度 事業計画書

第二期中期計画の初年度となる平成 28(2016)年度は、「はぐくんでみらいへ」をテーマに、次代を担うこころ豊かな青少年をはぐくむため、豊かな人間関係づくりをめざすHRT(ヒューマン・リレーション・トレーニング)プログラムや「生きる力」を育む自然体験活動、また、現代青少年の抱える課題解決に向けた自立支援事業など、より一層、社会のニーズに応える公益性の高い事業に取り組み、青少年の健全育成活動を通じて社会貢献を進めて参ります。実施にあたっては「一人ひとりの青少年が尊重されること」を基本にし、青少年の主体的な参画と成長を願って取り組みを進め、非営利型の一般財団法人として公益的な使命を果たしていきます。

## I 公益目的事業

公益目的財産額	年間平均認定事業予算	目的支出計画期間
254,455,826 円	9,593,000 円	27年

No.	事業名	予定期間	共催団体	備考
1	青少年活動 リーダー育成事業	年間		採用新人予定数 40名 (在籍総数 60名)
2	公開講座	7月 10月 12月 3月	公益財団法人関西テレビ 青少年育成事業団 大阪府キャンプ協会 他	青少年の理解Ⅰ 青少年の理解Ⅱ リスクマネジメントセミナー 野外活動ミーティング
3	「シーカヤックチャレンジ」	実施 9月	大阪府立 青少年海洋センター	障がい者力ヌー事業
4	「のびのびキャンプ」	プレ 6月 実施 8月	公益財団法人関西テレビ 青少年育成事業団 NPO 法人アサヒキャンプクラブ	自閉症の子どものキャンプ
5	「ゆうゆうキャンプ」	8月 11月 2月	公益財団法人毎日新聞 大阪社会事業団	家庭児童相談室に来所する 児童生徒の体験活動

(資料編P11参照)

## II NOS/HRTプロジェクト事業

参加者数目標/(延べ人数)	事業収益目標額
5,600人/15,200人	85,253,000円

### 1. NOS/HRT(ヒューマン・リレーション・トレーニング)プロジェクト推進事業

- (1)教育現場との連携事業
- (2)スポーツクラブ・団体等へのプログラム提供
- (3)大学・企業のコミュニケーション能力向上への支援

## 2. 野外活動指導者の育成

- (1) 機関連携での資格認定講習会の実施
- (2) 専門学校等からの資格取得講習を併用したNOS事業受託

## Ⅲ 自然体験事業

年間事業数	参加者数目標／(延べ人数)	事業収益目標額
86 事業	3,555 人／7,950 人	63,716,000 円

(資料編P12～14参照)

### 1. 募集型企画事業の実施

- (1) 心身が開放される自然環境の中で、実体験の場を提供
- (2) 四季折々の自然に触れ合うことのできるフィールドでの実施
- (3) 様々な年齢層に自然への感動と自己確立を図る活動機会の提供
  - ① 幼児には、穏やかな環境のもとでの集団活動体験の機会提供
  - ② 小学校低学年には、自然との出会いとグループ活動の機会提供
  - ③ 小学校高学年には、様々な自然環境のもと、自尊感情を育む体験活動の機会提供
  - ④ 中学生～高校生には、自己への気づき・他者への関わりを育む、体験活動の機会提供
  - ⑤ ファミリーには、家族内や家族間の交流を促進する活動機会の提供
- (4) 体験活動を通し、スキルアップやチャレンジ精神を養う機会の提供

### 2. 機関連携事業

- (1) 堺市青少年自然体験学習推進事業(共催事業:公益財団法人堺市教育スポーツ振興事業団)
- (2) 被災者支援交流プロジェクト in さかい(受託事業:堺市教育委員会)
- (3) 摂津市チャレンジクラブ(夏季キャンプ・冬季キャンプ)(受託事業:摂津市教育委員会)
- (4) 大阪府立少年自然の家(施設主催事業への青少年活動リーダー派遣)
- (5) 講師派遣事業

## Ⅳ 施設運営

### 1. 自主施設の運営

- (1) 吉野宮滝野外学校 <使用賃貸期間(H22.4～H32.3)の7年目>

年間運営経費	事業収入目標額	年間利用目標人数(延べ)
39,659,000 円	25,690,000 円	18,000 人

- ① 運営の安定化
  - ・近隣地域、団体、学校への利用促進
  - ・地域連携の促進
  - ・新規プログラム、フィールドの開発
  - ・町施策との連携、協調
  - ・自然体験活動事業の展開(資料編P12参照)
  - ・効率的な施設運営による経費節減

② 広報の充実

- ・ホームページ、フェイスブックによる情報発信
- ・「吉野町広報」や地元ケーブルテレビとの連携

③ 施設の改善・環境整備

- ・野外炊さん場、居住環境、厨房設備の環境改善
- ・地域消防や地元警察との連携強化によるセキュリティーの向上

## 2. 指定管理・共同指定管理施設の運営

(1) 箕面市立青少年教学の森野外活動センター（第2期指定管理(H23.4～H33.3)の6年目）

年間運営経費	箕面市受託料	事業収入目標額	年間利用目標人数(延べ)
50,013,000 円	39,013,000 円	11,000,000 円	21,500 人

① 施設環境改善への取り組み

- ・特別改修提案(指定管理受託提案)の「第1キャンプ場常設テント2張の指導者用テント改装」の実施
- ・「快適性及び清潔感の向上」を目標にしての整備継続
- ・備品の計画的更新 ほか

② 継続的な利用促進

- ・利用者アンケート継続や「サンキューメール」の送付
- ・地域特性を生かした新規事業等の企画立案
- ・幼児を含む家族向け日帰り事業やこども会、子育てサークルとの連携事業 ほか

③ キャンプカウンセラーの増員および育成

- ・新規採用キャンプカウンセラー(フレッシュ-1年目)25名を含む60名体制の確立
- ・中学、高校生対象の体験キャンプや養成事業の継続的实施

④ 施設主催事業・箕面市主催事業一覧(資料編P15～16参照)

(2) 東大阪市立野外活動センター「自由の森なるかわ」(第3期指定管理(H24.4～H29.3)の5年目)

年間運営経費	東大阪市受託料	事業収入目標額	年間利用目標人数(延べ)
52,800,000 円	43,173,000 円	9,627,000 円	11,000 人

① 施設環境改善への取り組み

- ・テント台、木製遊具(ありじごく)の補修
- ・雑木伐採他の定期的な環境整備

② 継続的な利用促進

- ・ホームページの随時更新、フェイスブックの作成と更新の継続
- ・地域特性を生かした新規事業等の企画立案
- ・近年一般利用で増加している、幼児を含む母親グループへの積極的な広報誘致を実施

③ 青少年活動リーダー(なるかわリーダー)の育成と活動促進の継続

- ・新規採用なるかわリーダー30名を含む在籍総数80名体制。
- ・研修計画の策定と自己成長を促す育成

- ④ 施設主催事業一覧(資料編P16～17参照)
- ⑤ 次期指定管理獲得(平成 29 年度から)に向けて
  - ・施設運営マニュアルの整備、備品台帳の内容を精査
  - ・庶務、経理システムの安定化

(3)大阪府立少年自然の家 (第3期共同指定管理(H28.4～H38.3)の初年度)

①運営の安定化

- ・近隣地域、団体への利用促進(28 年度受入れ目標 101,300 人)
- ・地域連携の促進
- ・新規プログラム、フィールドの開発
- ・府施策との連携、協調
- ・大人向け事業の展開
- ・効率的な施設運営による経費節減
- ・安心安全な施設運営

②広報の充実

- ・ホームページ、フェイスブックによる情報発信
- ・大阪府通送便、貝塚市広報との連携

③施設の改善・環境整備

- ・インターネット回線(ISDN)を光回線に改修
- ・森のバーベキューガーデン(仮称)の設置

<共同指定管理者>

公益財団法人大阪ユースホステル協会

(4)大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)

(第3期共同指定管理(H28.4～H33.3)の初年度)

①青少年センター機能の充実

- ・財団の青少年活動リーダー育成事業の研修拠点としての運用
- ・青少年活動情報コーナーへの事業広報チラシ開架の促進
- ・青少年関係団体の利用登録団体増加の推進
- ・青少年関係団体研修会場としての利用促進
- ・青少年関係事業の新規提案
  - (1) 自習コーナーの設置
  - (2) 幼児を含む親子体験事業やニートやひきこもり問題を抱えた青少年層対象の事業の推進

<共同指定管理者>

一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団  
株式会社菱サ・ビルウェア関西支店  
特定非営利活動法人大阪現代舞台芸術協会

## V 法人運営

### 1. 理事会

- (1)第1回定時理事会 平成 28(2016)年 6 月 8 日  
平成 27(2015)年度事業報告及び収支決算等
- (2)第2回定時理事会 平成 29(2017)年 3 月  
平成 29(2017)年度事業計画及び収支予算等

### 2. 評議員会

- (1)第1回定時評議員会 平成 28(2016)年 6 月 23 日  
平成 27(2015)年度事業報告及び収支決算等
- (2)第2回定時評議員会 平成 29(2017)年 3 月  
平成 29(2017)年度事業計画及び収支予算等

### 3. その他

- (1)危機管理やコンプライアンスの徹底などによるリスクマネジメント力の強化
- (2)個人情報及び特定個人情報の適切な取扱いとその保護の周知徹底
- (3)業務の効率化を目的とした経営の健全化
- (4)中期計画(平成 28(2016)年度～平成 32(2020)年度)のスタート
  - ①将来経営に向けた新規事業、プログラムの積極提案と実施
  - ②スマホ対応ホームページの情報発信力・広報機能の向上
  - ③研修計画の策定(青少年育成団体としての専門性の向上と職員個々の計画的育成)